



2025年度前期

「大学院学生の達成度自己評価および
授業改善のためのアンケート」 報告書

2025年10月

JWU女子高等教育センター

1. 実施概要
2. 設問項目
3. 回答数・回答率
4. 学生の授業に対する意識・取り組み
5. 教員の授業に対する姿勢・取り組み
6. 授業の満足度

実施概要

1.趣旨・目的

日本女子大学大学院学則第2条に規定する自己点検・評価の一環として、「大学院学生の達成度自己評価および授業改善のためのアンケート」（以下「大学院授業アンケート」という。）を実施する。このアンケートは、学生が授業への取り組み方を振り返り、到達目標の達成度を自己評価することによって、学修に関する課題を明確にし、学生の主体的な学修への意識を高めることを目的とする。さらに、学生の視点から教員の授業への取り組み方を可視化し、その結果を学生の自己評価と合わせて、継続的に授業の改善に活かすことを目的とする。また、大学院授業アンケートの結果は、カリキュラムの組織的検証にも活用する。

2.実施期間

2025年7月1日（火）～2025年7月30日（水）

結果参照期間は2025年9月3日（水）～2026年9月30日（水）、学生へのコメント回答期間は2025年9月3日（水）～2025年9月30日（火）

3.実施方法

JASMINE-Naviの「授業アンケート」機能を使用して実施する。学生はスマートフォン、タブレット、パソコン等でアクセスし、無記名で回答する。対面授業では**授業開始直後の10分**ほどの時間を確保し、アンケートを実施する。

4.質問項目

共通項目においては、学生が到達目標（シラバスに記載の目標）の達成度を自己評価するため、大学院授業アンケート実施前に学生にシラバスを再確認させる、あるいは授業担当者が学生に提示する。共通質問項目に加えて、別途Forms等を用いて個別質問を設けることができる。

5.学生への周知

学生への周知は、JASMINE-Naviの掲示情報等により行う。授業担当者からも学生に回答を呼びかける。遠隔授業については、manabaの掲示板等を使用し回答を呼びかける。

6.授業アンケートの集計結果

【専攻への個別データの提供】

学長をはじめとする大学執行部会議構成員及びJWU女子高等教育センター構成員・基盤教育センター長・教職総合センター所長・社会連携教育センター所長・国際交流センター長は授業毎の個別データ（自由記述部分を含む）を閲覧できるものとする。

また、専攻主任へは所属する専攻科目の個別データ（自由記述部分を含む）を提供する。

なお、専攻主任の判断により専攻の教員に個別データ（自由記述部分を含む）を共有することも可とする。

【個別の集計結果の参照】

個別の授業の集計結果は、授業担当教員および当該授業を履修している学生に公開（結果参照期間内にJASMINE-Naviで公開）する。

【学生へのフィードバック】

授業担当教員は、学生へコメントを返すことにより、積極的に学生へのフィードバックを行う。

JASMINE-Navi の「授業評価」>「授業評価結果照会」よりコメントを入力し、コメントは当該授業を履修しているすべての学生に公開される。

【報告書の作成】

集計結果は報告書としてまとめ、学内外に公表する。

【守秘義務】

大学院授業アンケートの集計結果は、大学院授業アンケートの趣旨・目的以外に使用してはならない。業務上の関連部署には守秘義務が課される。

設問項目

No.	設問	選択肢
1	専攻を選択してください	(略)
2	学年を選択してください。	(1)博士課程前期（修士）1年 (2)博士課程前期（修士）2年 (3)博士課程後期1年 (4)博士課程後期2年 (5)博士課程後期3年 (6)その他
3	授業の主な形態を選択してください。	(1)対面型 (2)遠隔授業（オンデマンド型など） (3)対面型と遠隔型の混合（一部Zoom等を含む）
あなた自身の授業に対する意識・取り組みについてうかがいます。（設問数6）		
1	この授業の欠席回数	(1)0回 (2)1回 (3)2回 (4)3回 (5)4回以上
2	この授業について、授業時間以外で学修にあてた時間（1週間の平均）	(1)4時間以上 (2)3～4時間未満 (3)2～3時間未満 (4)1～2時間未満 (5)1時間未満
3	この授業の到達目標を意識した	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
4	意見や質問を述べるなど、この授業に積極的に参加した	
5	この授業の内容を理解するように努力した	
6	この授業の到達目標を達成できた ＊授業がまだ終わっていない場合は、回答は見込みで結構です。到達目標が複数ある場合は、総合的に評価してください。	

No.	設問	選択肢
教員の授業に対する姿勢・取り組みについてうかがいます。（設問数10）		
1	授業の到達目標は分かりやすく書かれていた	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
2	各回の授業のねらいは明確だった	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
3	授業の内容は分かりやすかった	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
4	授業が進むスピードは	(1)速過ぎた (2)少し早い (3)ちょうど良かった (4)少し遅い (5)遅過ぎた
5	教員の話し方は聞き取りやすかった	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない (5)この設問はこの授業には当てはまらない（遠隔授業など）
6	各回の授業内容の量は	(1)多過ぎた (2)やや多かった (3)ちょうど良かった (4)やや少なかった (5)少な過ぎた
7	板書・提示資料・授業コンテンツや参考文献が適切であった	(1)大いに思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない

設問項目

No.	設問	選択肢
8	課題の量は	(1)多過ぎた (2)やや多かった (3)ちょうど良かった (4)やや少なかった (5)少な過ぎた
9	意見や質問をする機会が設けられていた	(1)大いにそう思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
10	質問に対する回答など、学生へのフィードバックが適切に行われた	
この授業の満足度などについてうかがいます。（設問数 3 自由記述あり）		
1	総合的に判断して、この授業は有意義だった	(1)大いにそう思う (2)そう思う (3)そう思わない (4)まったくそう思わない
2	この授業の満足度をお教えてください（5点を一番良い点として）	(1) 5点 (2) 4点 (3) 3点 (4) 2点 (5) 1点
3	自由記述欄：上の設問 1 と 2 の回答に関すること、授業で改善してほしいことなど、この授業に関する意見や要望を簡潔に記してください（最大400文字）。 *この自由記述欄の内容は記述された通りに授業担当者にお伝えします。そして、この記述内容を踏まえた教員からの所見を学内で公開します。個人名や誹謗・中傷にあたるコメントを記述することは控えてください。	

No.	設問	選択肢
授業アンケートの回答率を上げる方策を検討するためにうかがいます。（設問数 1）		
1	このアンケートは授業時間中に実施されましたか？	(1)実施された (2)実施されなかった (3)後で回答しておくよう指示があった

回答数・回答率

- 実施科目数：231科目
- 延べ履修者数：870
- 回答数：262
- 回答率：30.1%（262/870）

以下の専攻は前期授業アンケートの対象となる科目がなかったため、右表から除外

- 住居学専攻
- 日本文学専攻博士課程後期
- 人間発達学専攻博士課程後期
- 生活環境学専攻博士課程後期
- 社会福祉学専攻博士課程後期
- 教育学専攻博士課程前期、博士課程後期
- 現代社会論専攻博士課程前期、博士課程後期
- 相関文化論専攻博士課程前期、博士課程後期
- 数理・物性構造科学専攻博士課程後期
- 物質・生物機能科学専攻博士課程後期

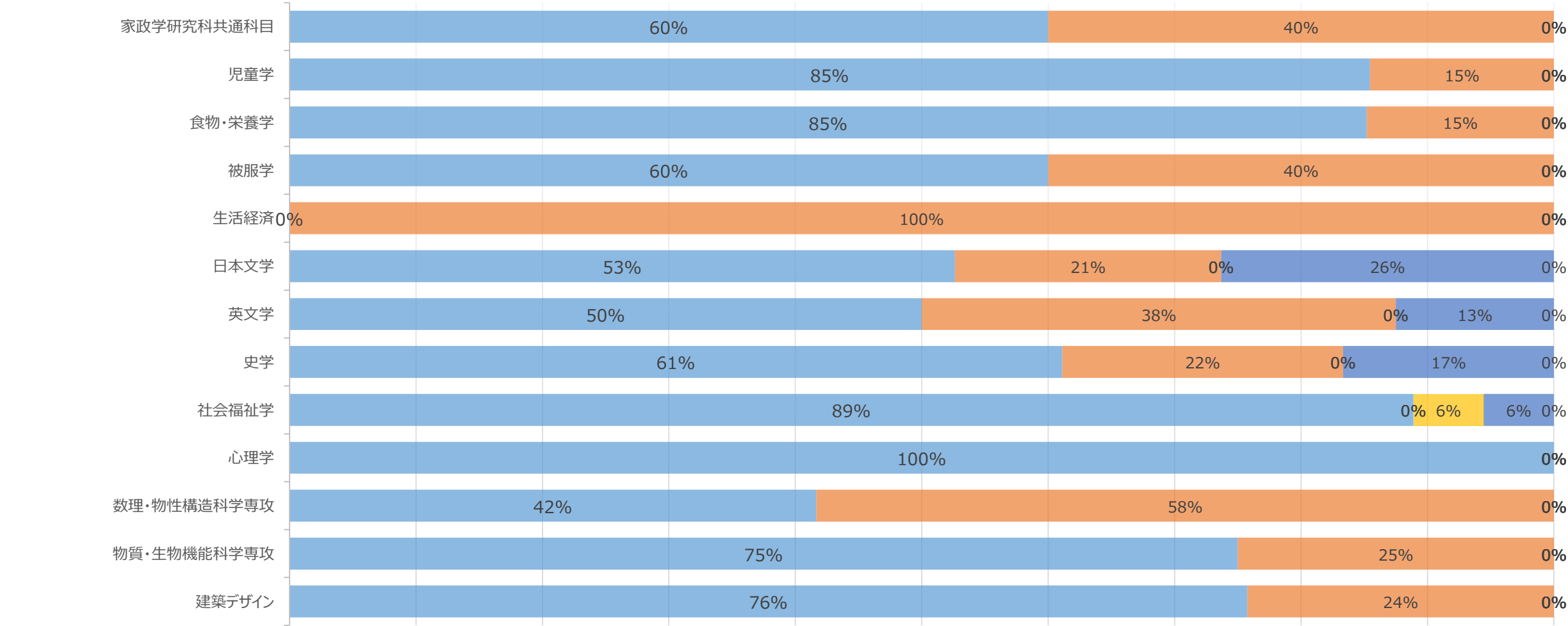
科目区分別 回答率	2025前期
家政学研究科	66.67%
児童学専攻	57.89%
食物・栄養学専攻	32.53%
被服学専攻	42.86%
生活経済専攻	87.50%
日本文学専攻博士課程前期	38.78%
英文学専攻博士課程前期	34.78%
英文学専攻博士課程後期	0.00%
史学専攻博士課程前期	48.57%
史学専攻博士課程後期	50.00%
社会福祉学専攻博士課程前期	48.65%
心理学専攻博士課程前期	12.03%
心理学専攻博士課程後期	0.00%
数理・物性構造科学専攻博士課程前期	13.04%
物質・生物機能科学専攻博士課程前期	47.06%
建築デザイン専攻	16.42%
合計	30.11%

学生の授業に対する意識・取り組み

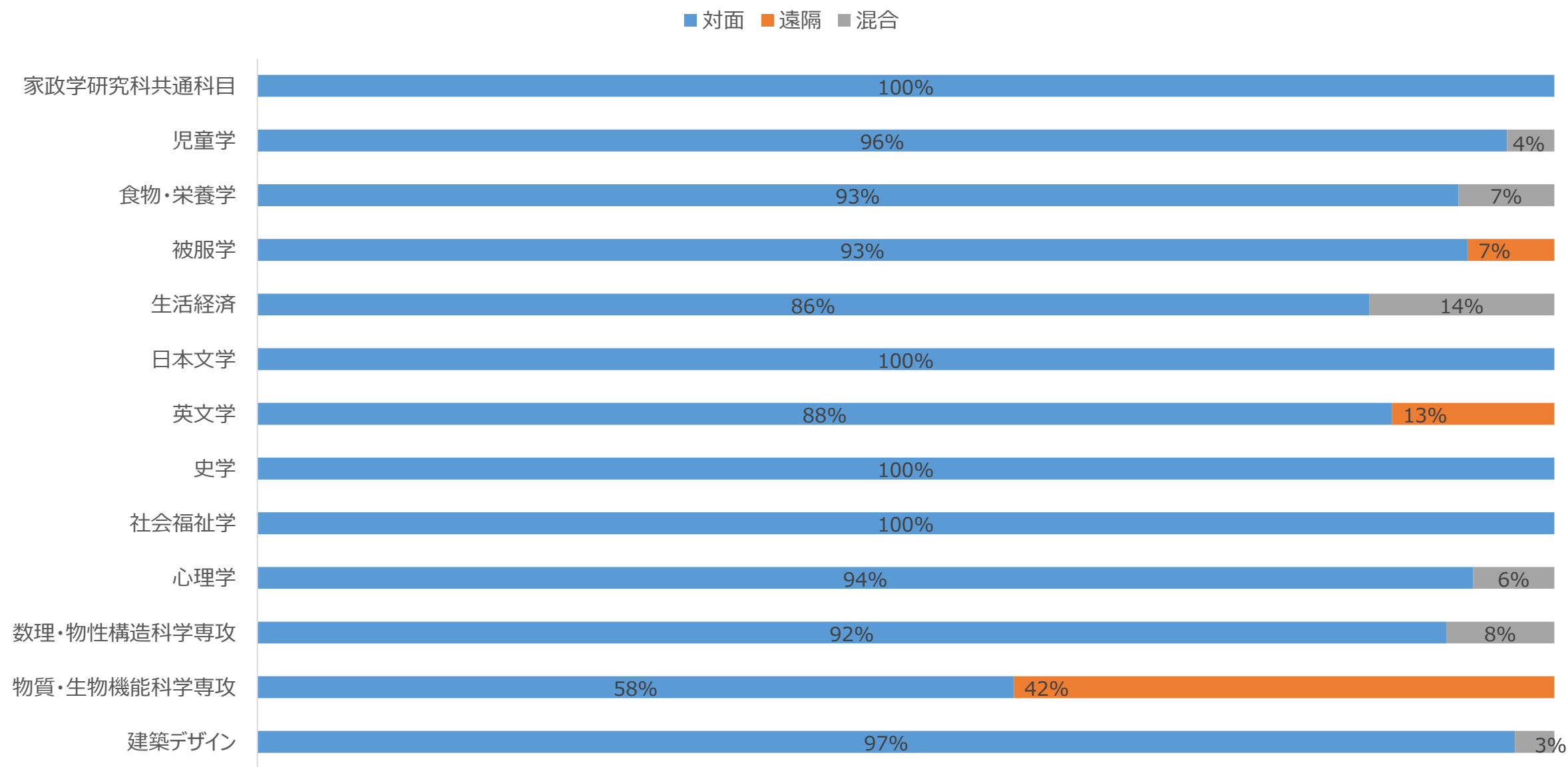
回答者の学年



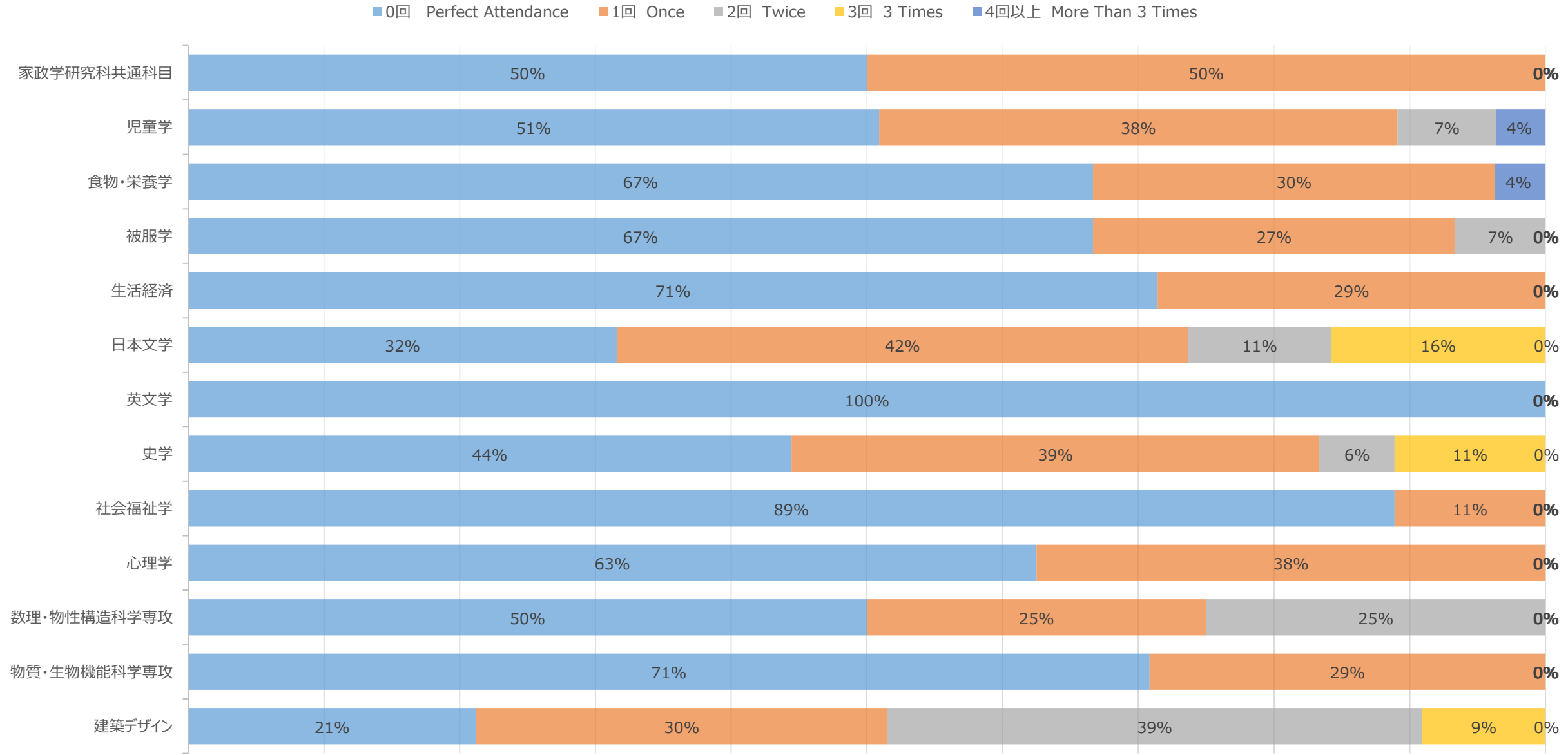
- 博士課程前期（修士）1年 First-Year of master's program
- 博士課程前期（修士）2年 Second Year of master's program
- 博士課程後期1年 First Year of doctoral program
- 博士課程後期2年 Second Year of doctoral program
- 博士課程後期3年 Third Year of doctoral program
- その他 Other



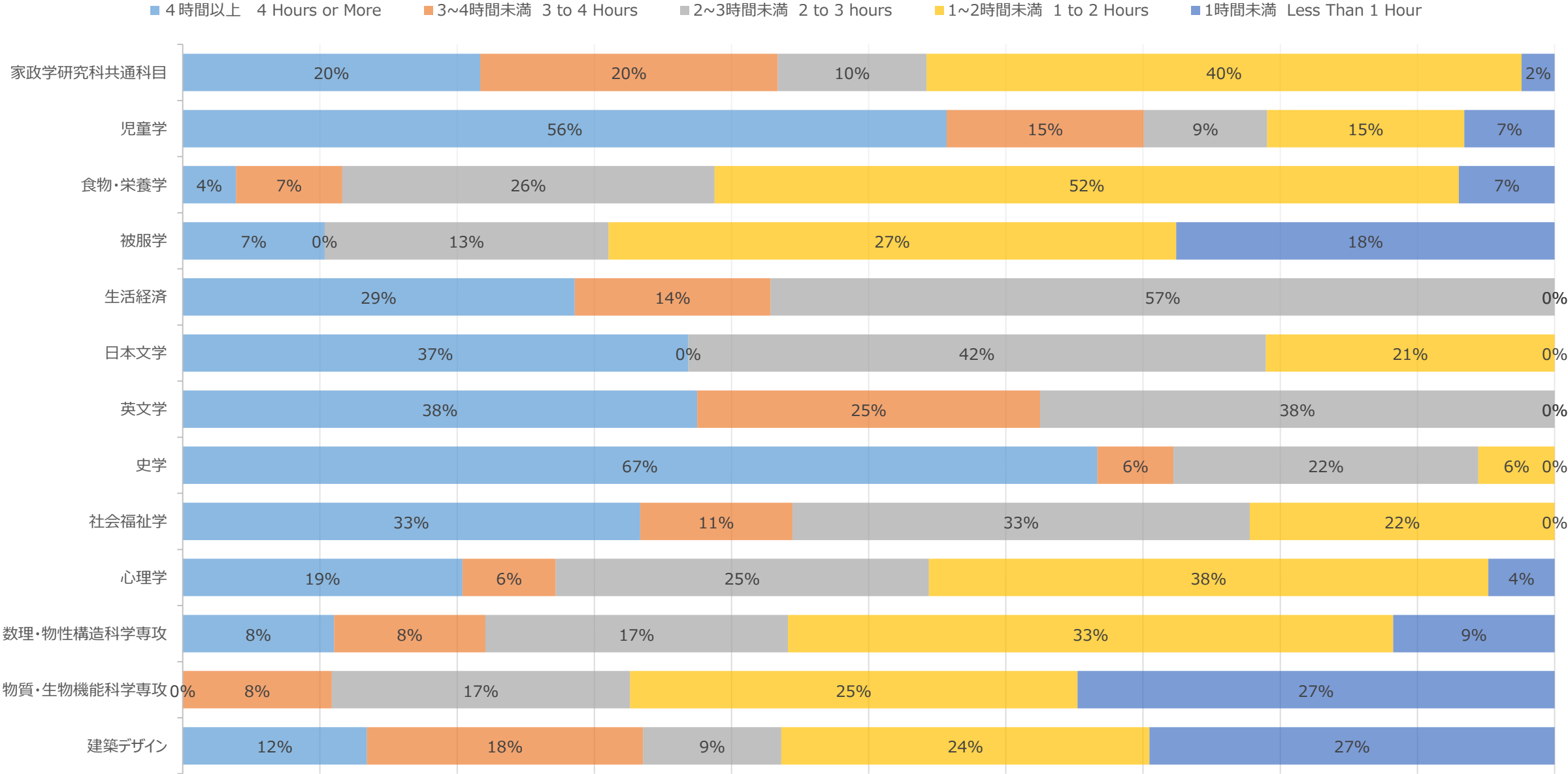
授業形態



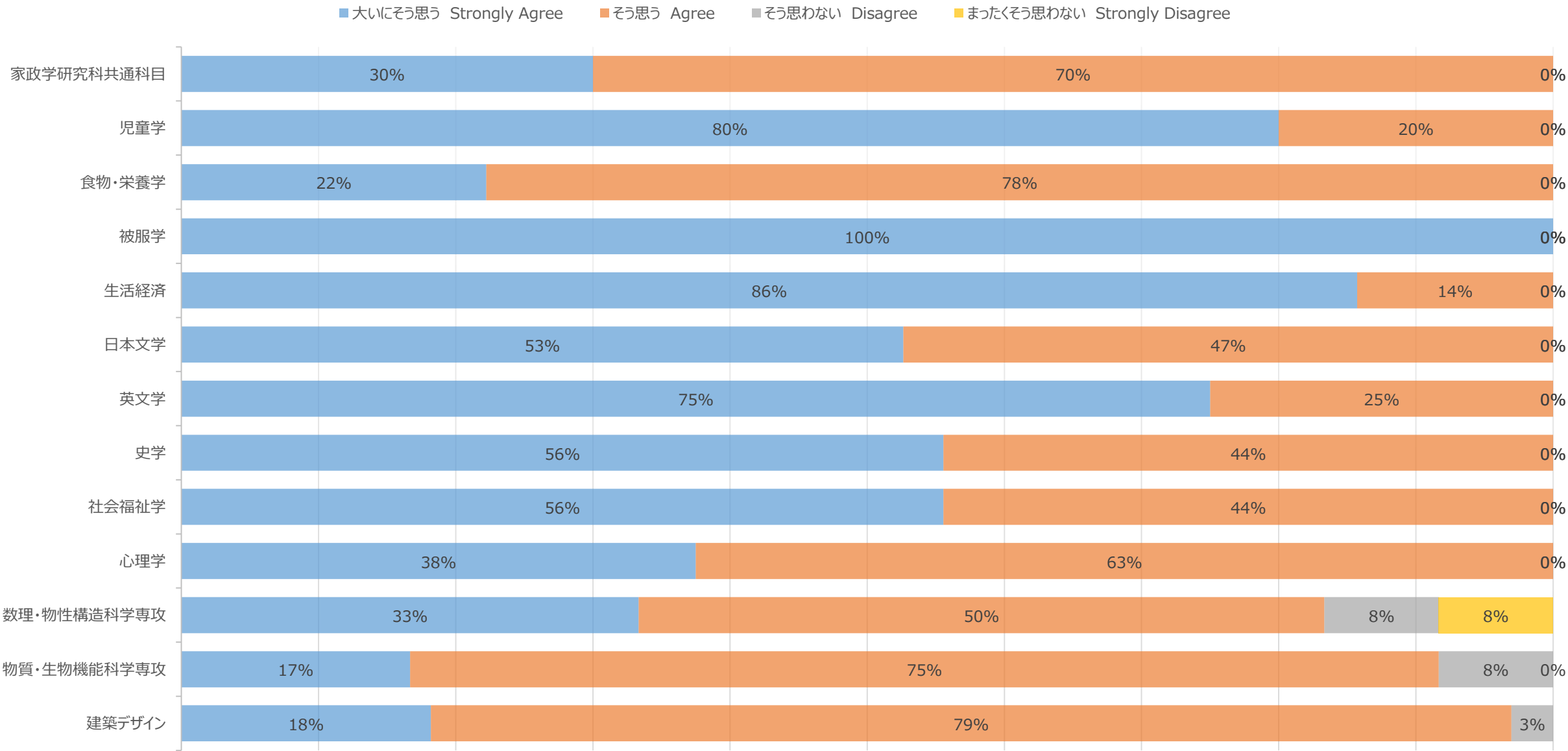
欠席回数



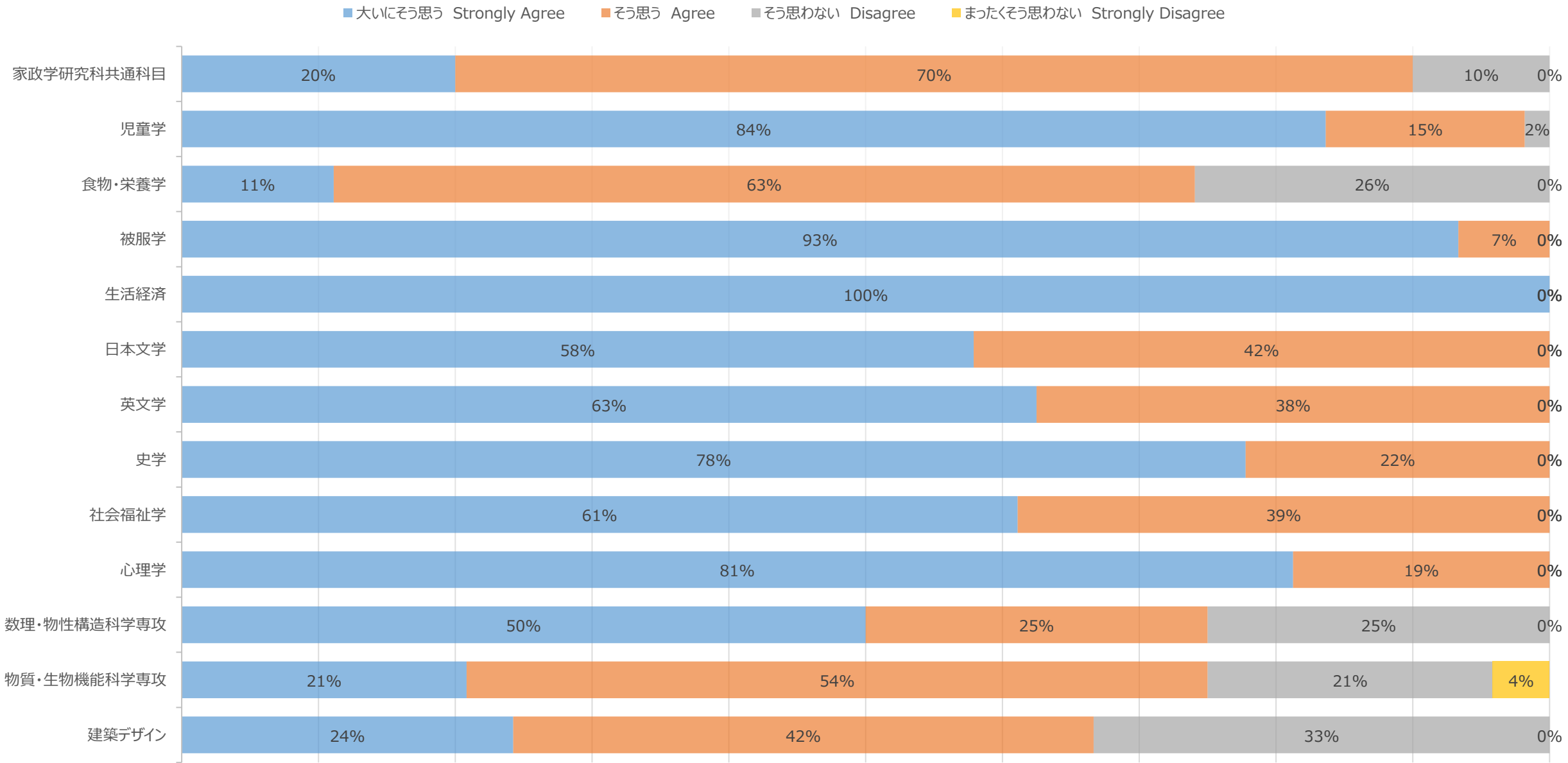
学修時間



到達目標を意識したか

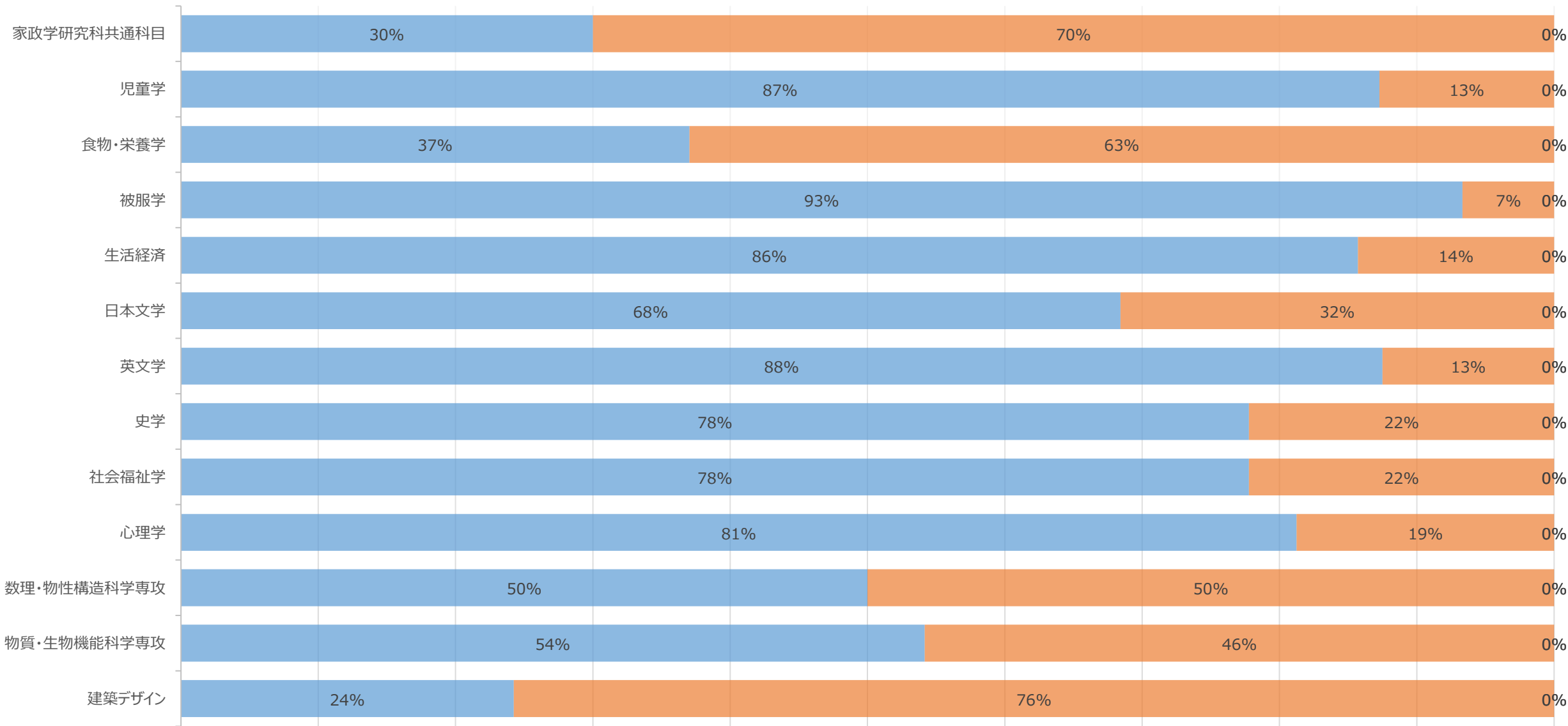


授業へ積極的に参加したか

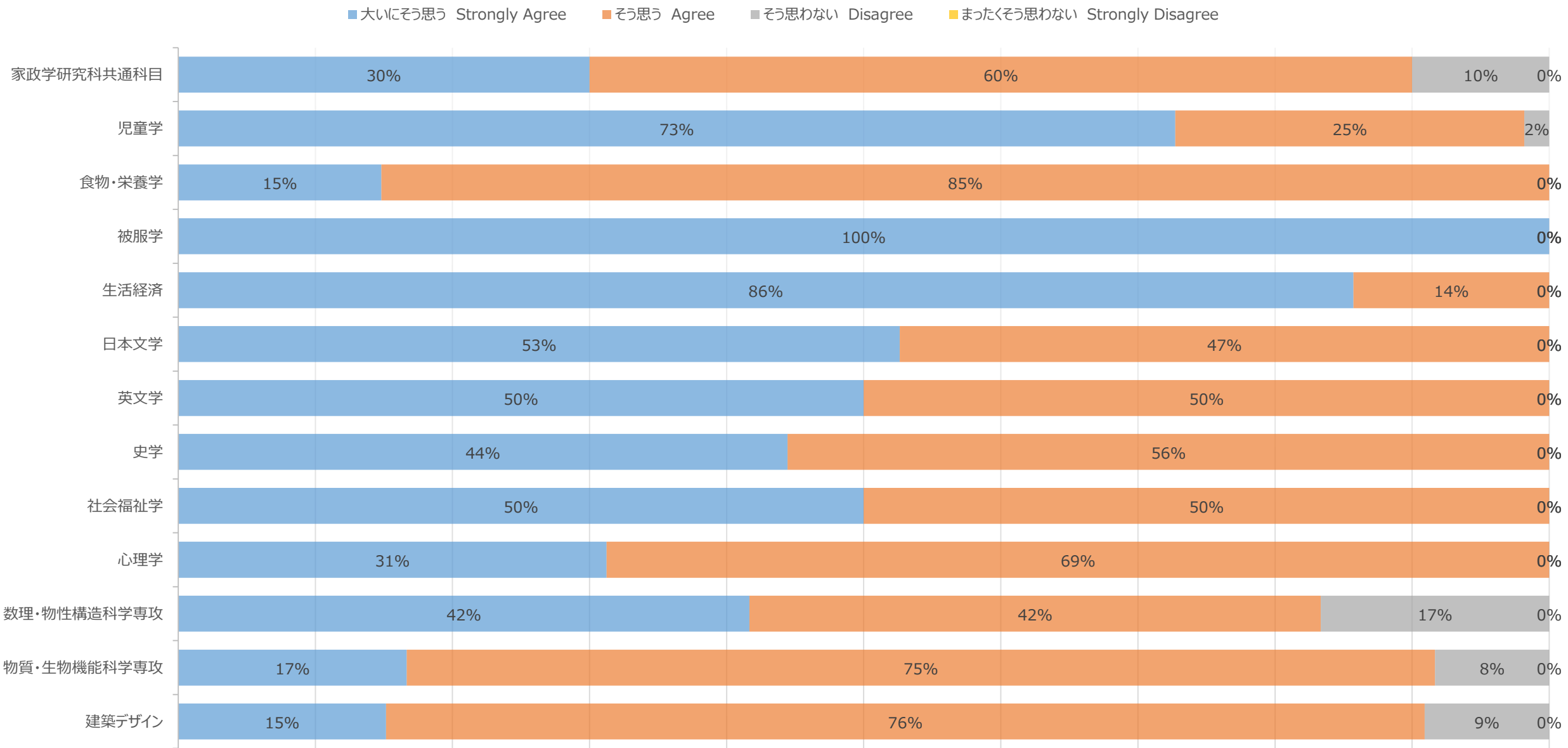


授業を理解しよう努力したか

■ 大いにそう思う Strongly Agree ■ そう思う Agree ■ そう思わない Disagree ■ まったくそう思わない Strongly Disagree



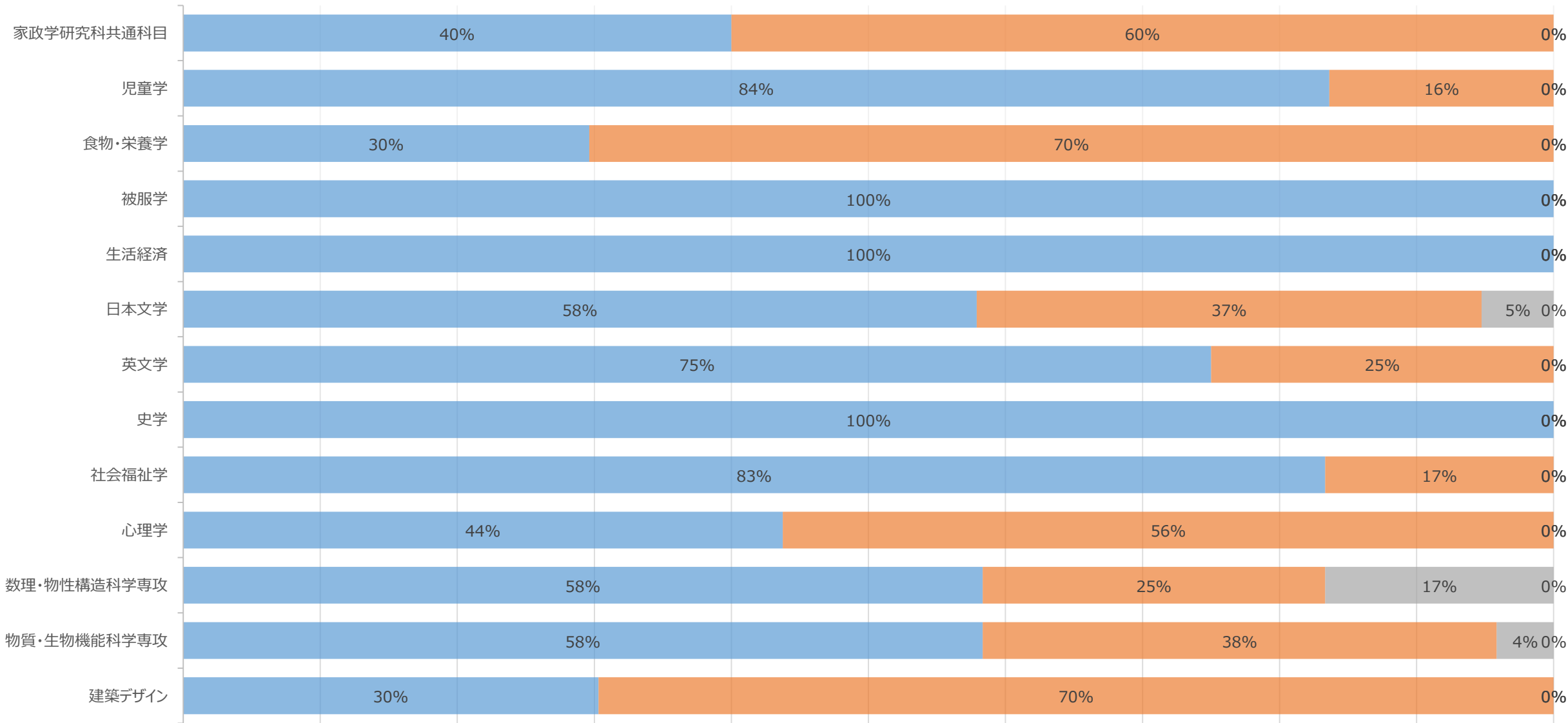
到達目標を達成できたか



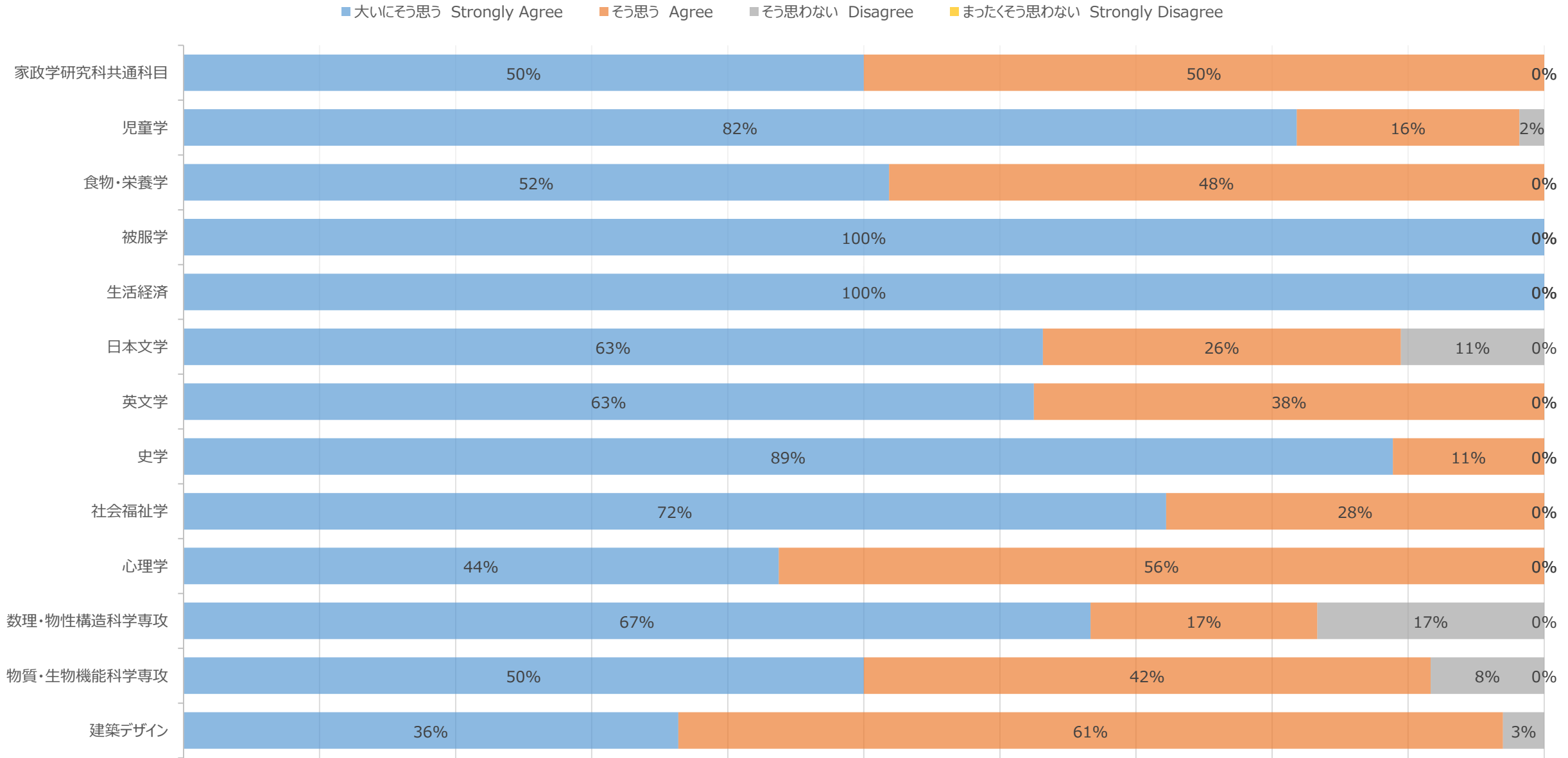
教員の授業に対する姿勢・取り組み

到達目標はわかりやすく書かれていたか

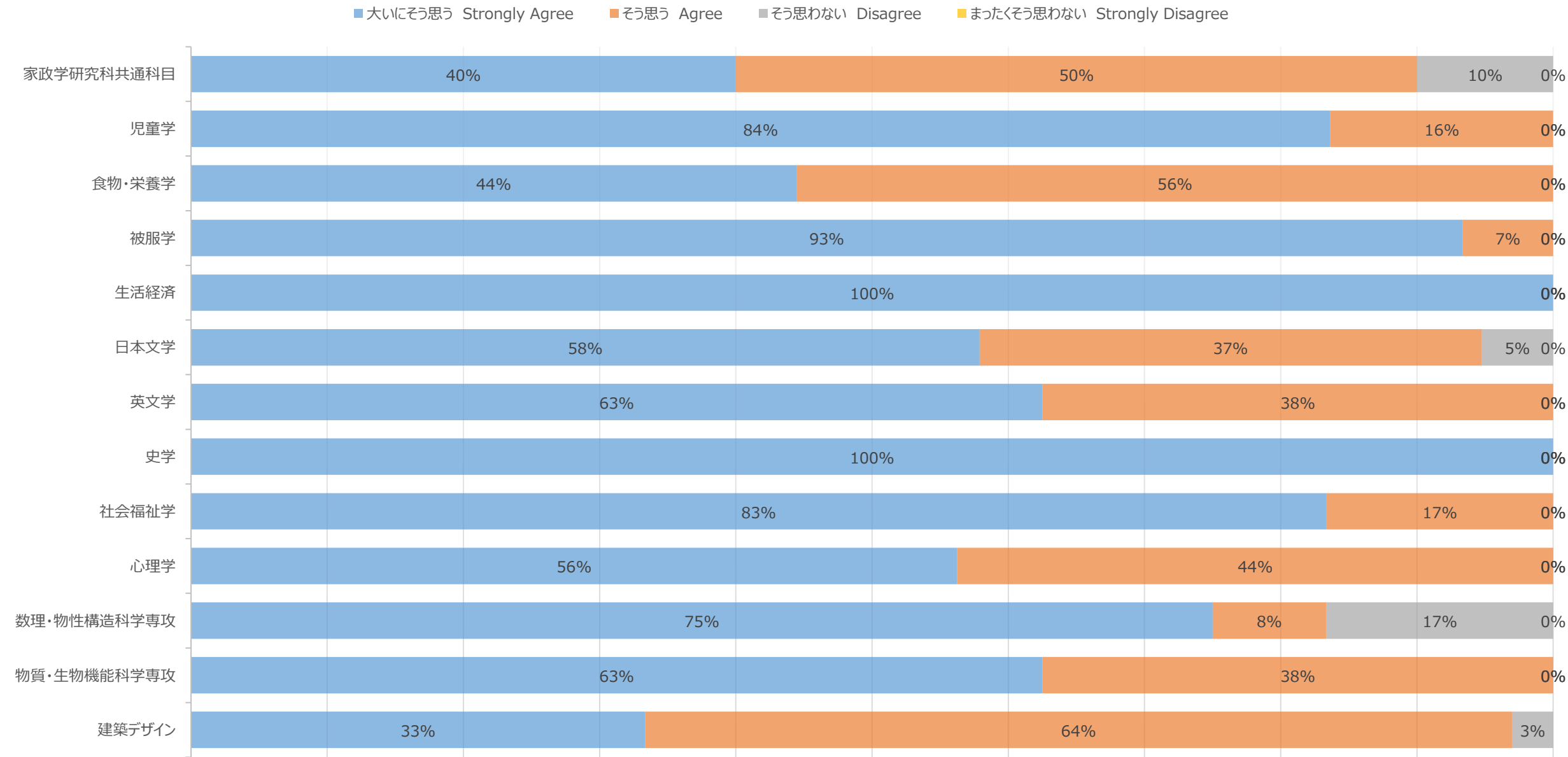
■ 大いにそう思う Strongly Agree ■ そう思う Agree ■ そう思わない Disagree ■ まったくそう思わない Strongly Disagree



各回の授業のねらいは的確だったか

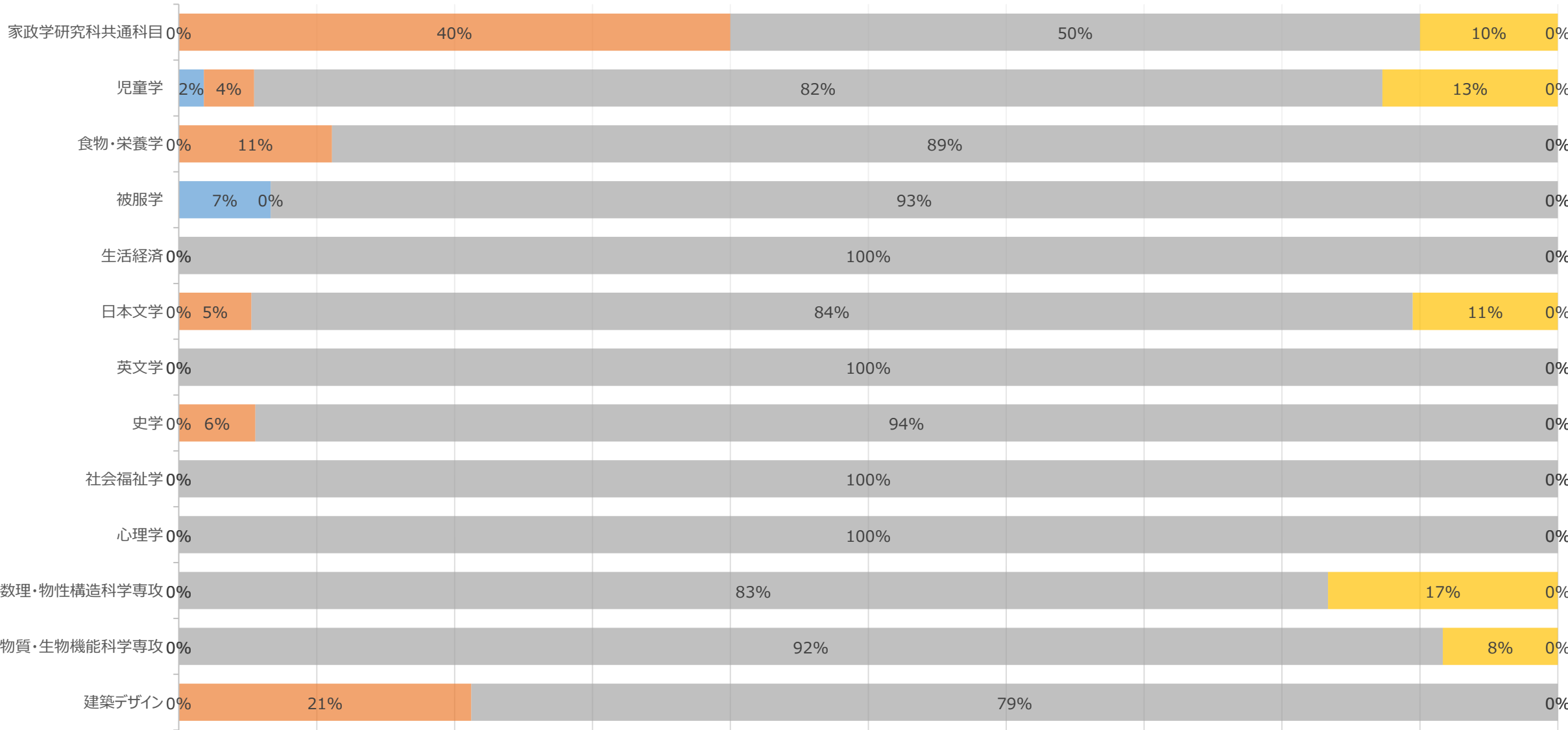


授業の内容はわかりやすかったか



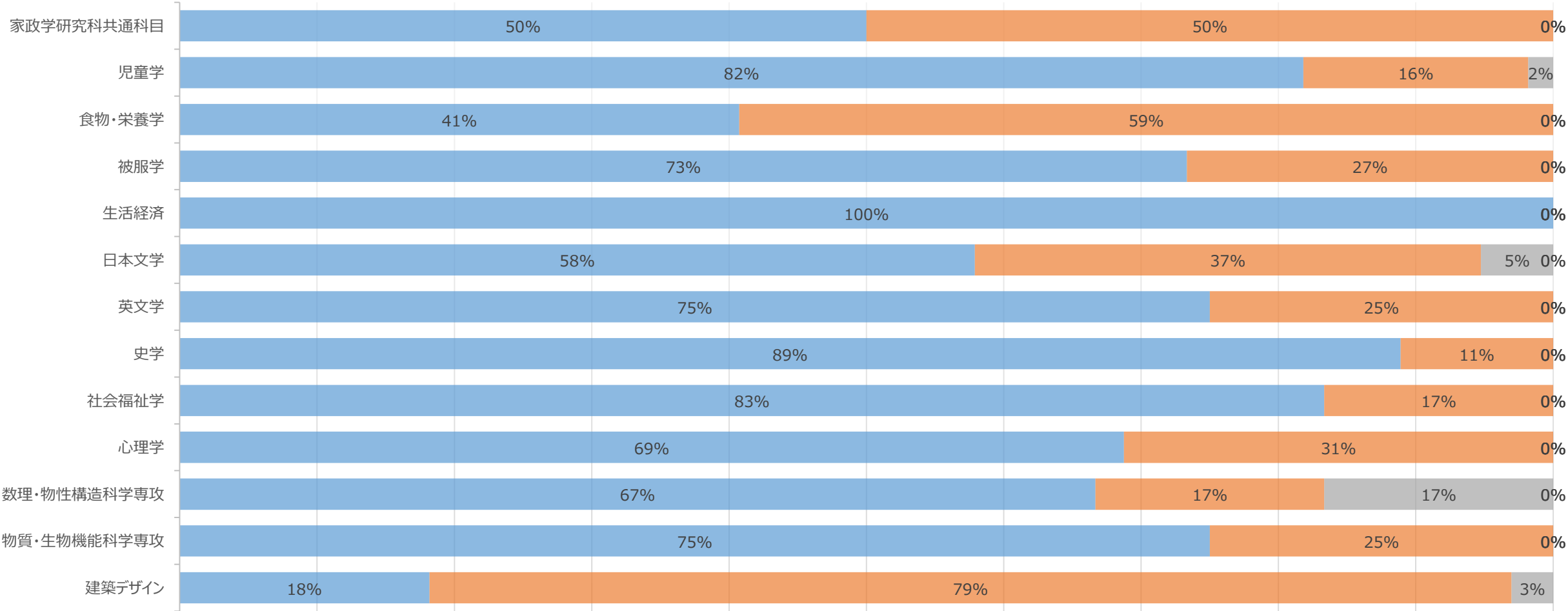
授業が進むスピード

速過ぎた Very Fast 少し速い A Little Fast ちょうど良かった Reasonable 少し遅い A Little Slow 遅過ぎた Very Slow

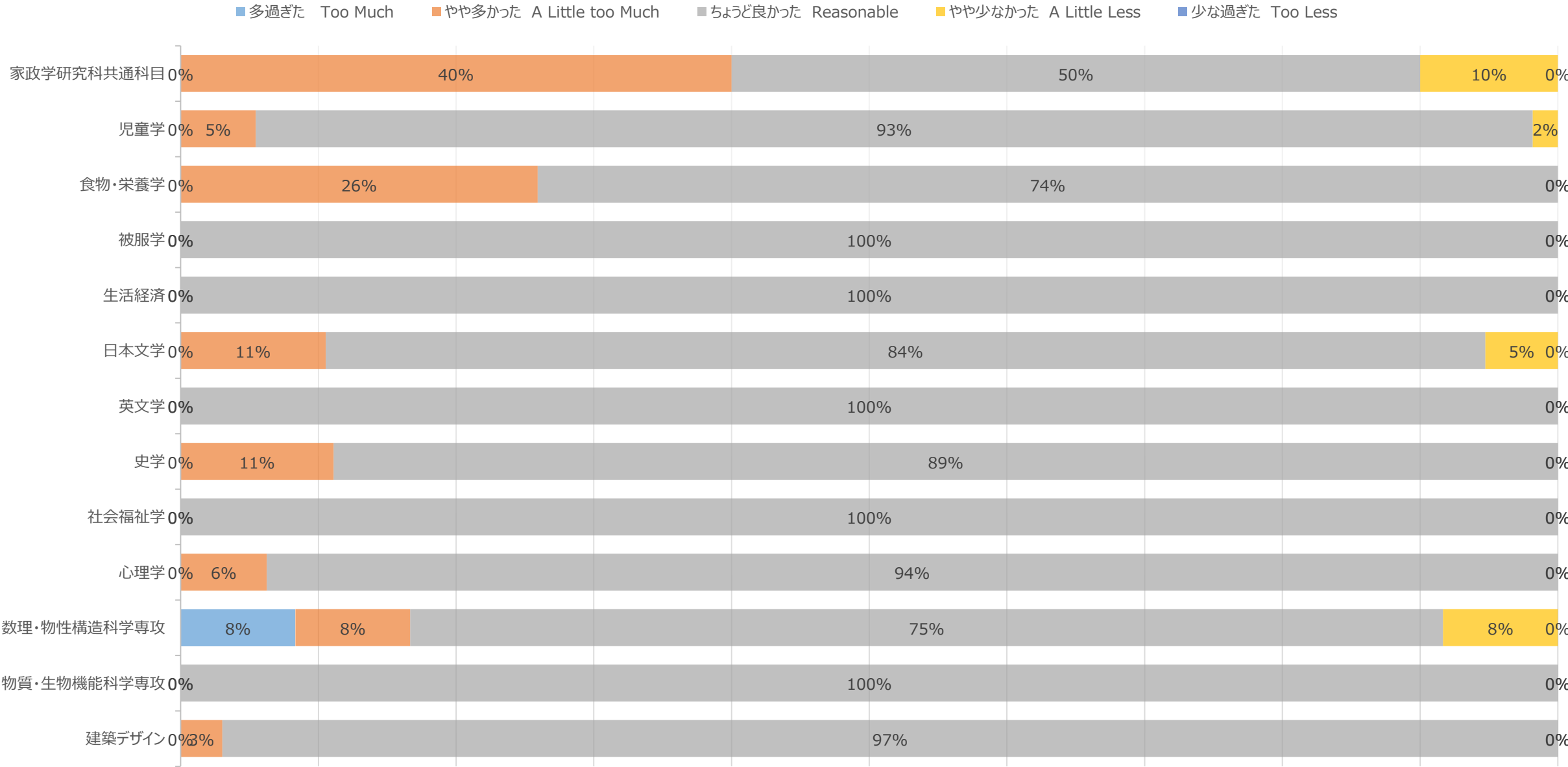


教員の話し方は聞き取りやすかったか

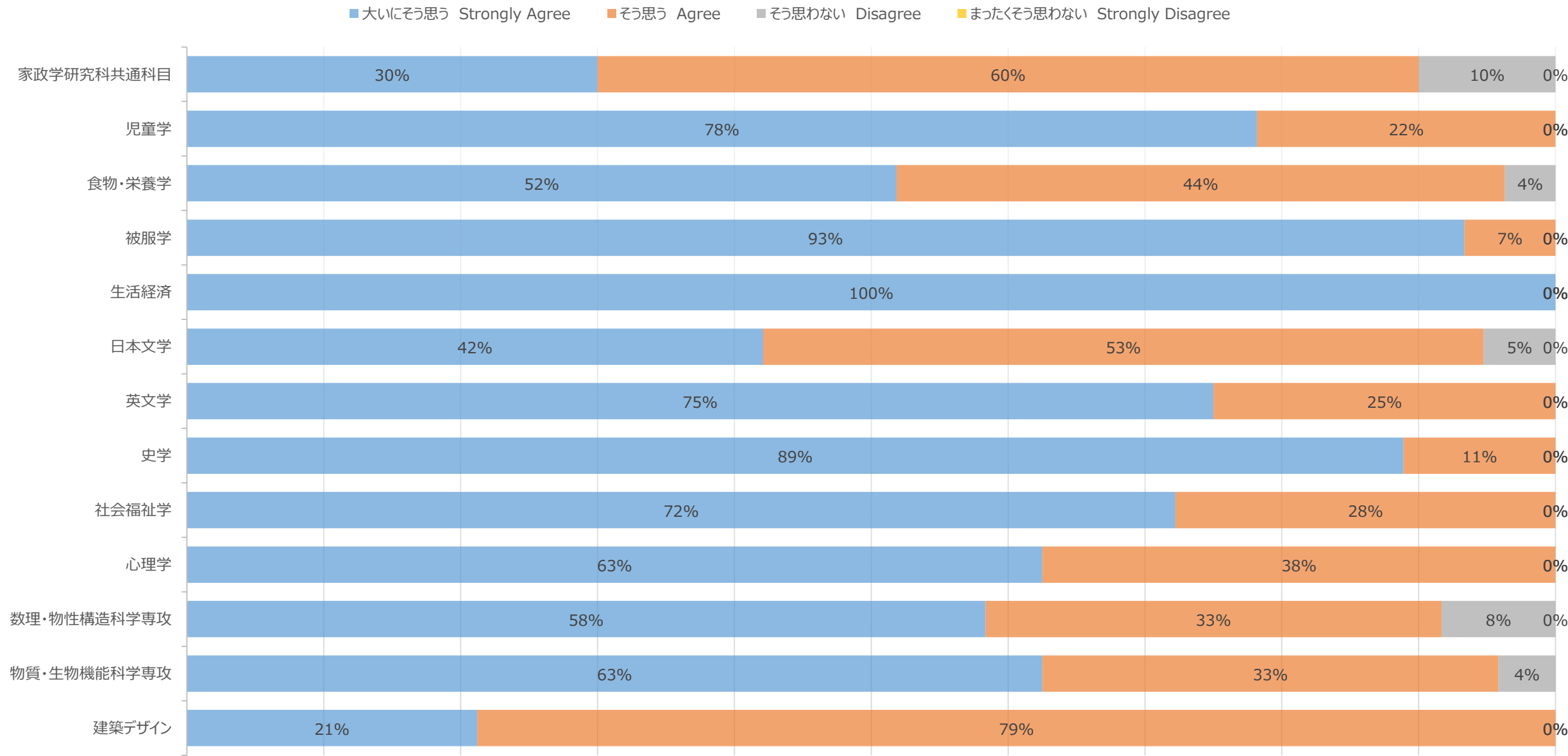
- 大いにそう思う Strongly Agree
- そう思う Agree
- そう思わない Disagree
- まったくそう思わない Strongly Disagree
- この設問はこの授業には当てはまらない（遠隔授業など） The question is not appropriate for the course



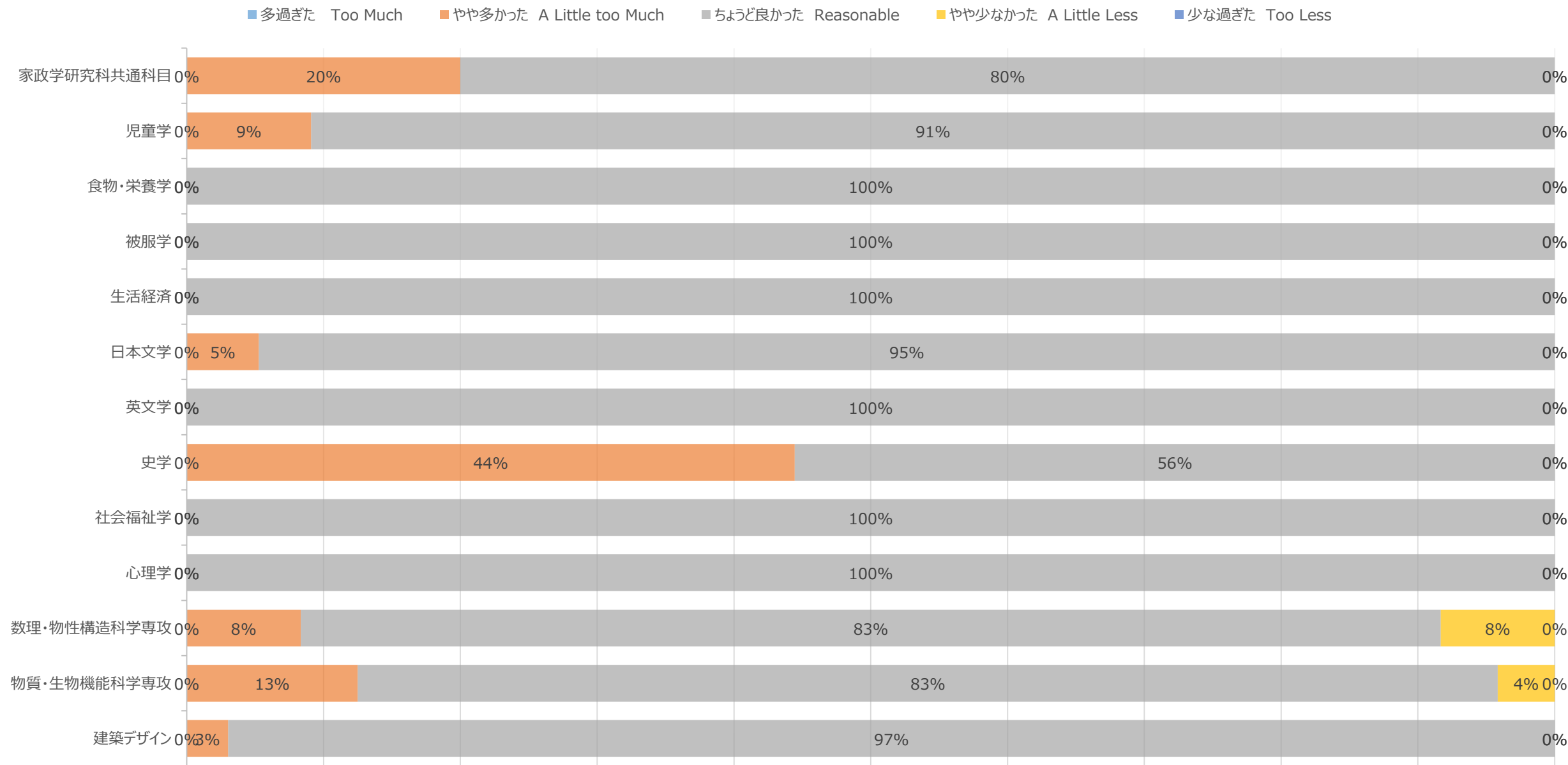
各回の授業内容の量



板書・提示資料・授業コンテンツや参考文献が適切だったか

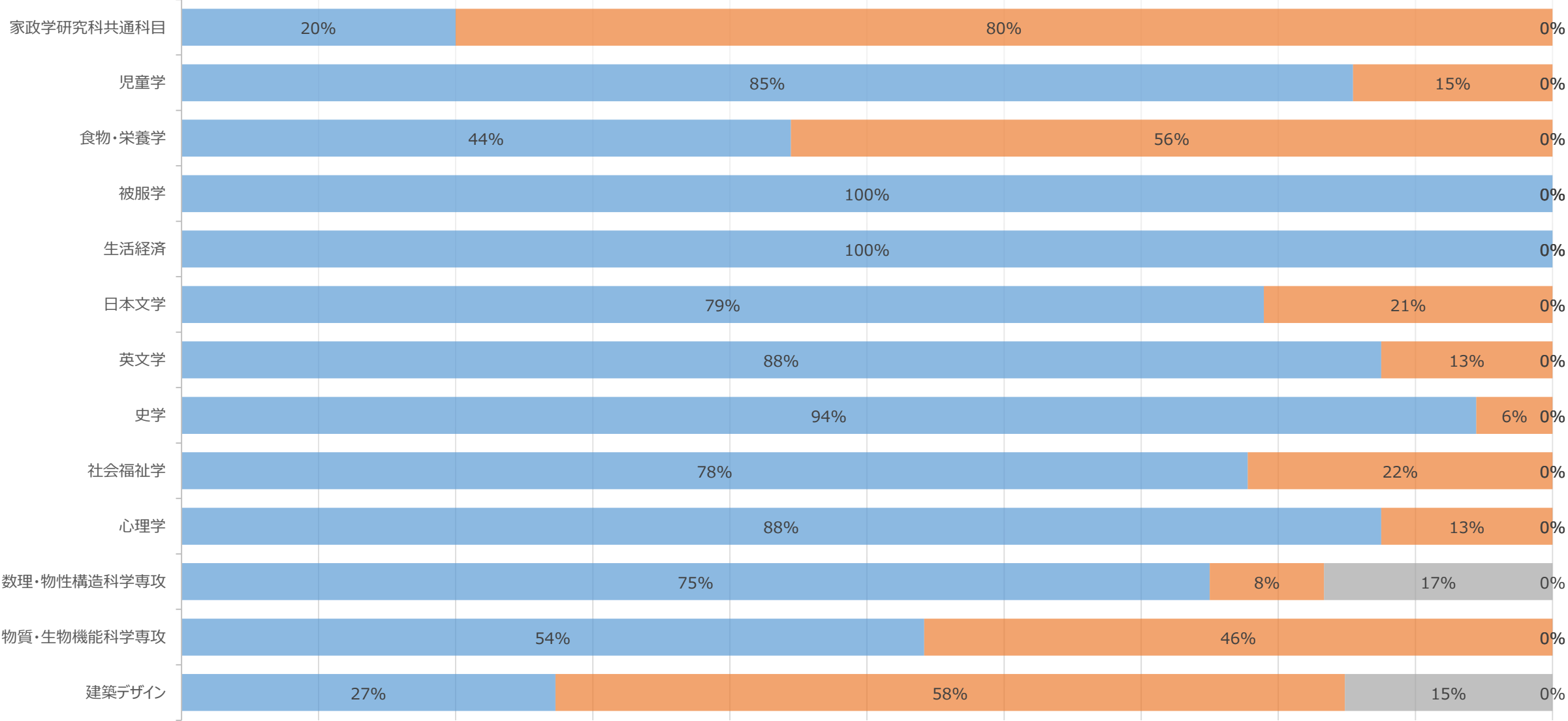


課題の量

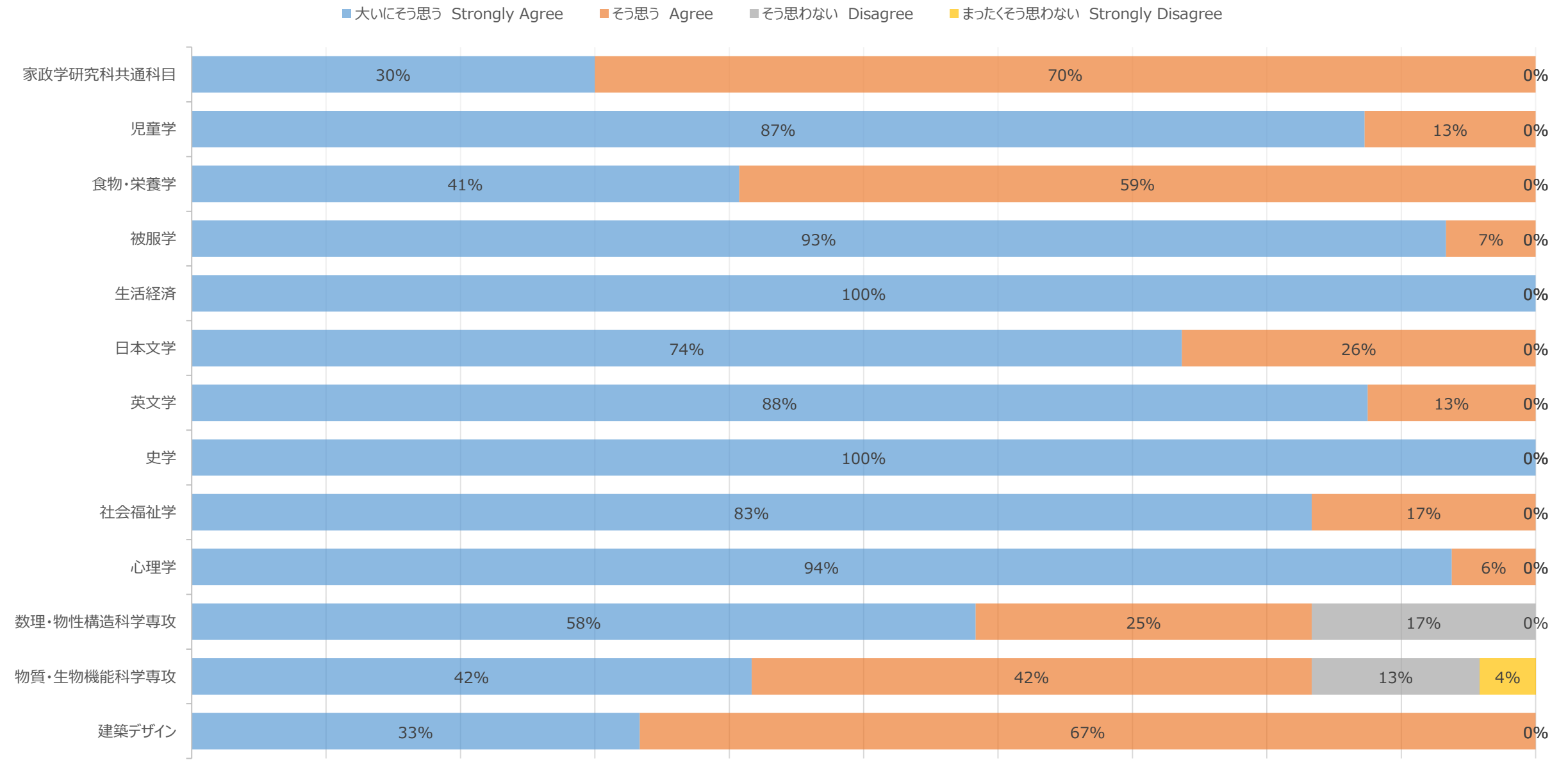


意見や質問をする機会が設けられていたか

■ 大いにそう思う Strongly Agree ■ そう思う Agree ■ そう思わない Disagree ■ まったくそう思わない Strongly Disagree

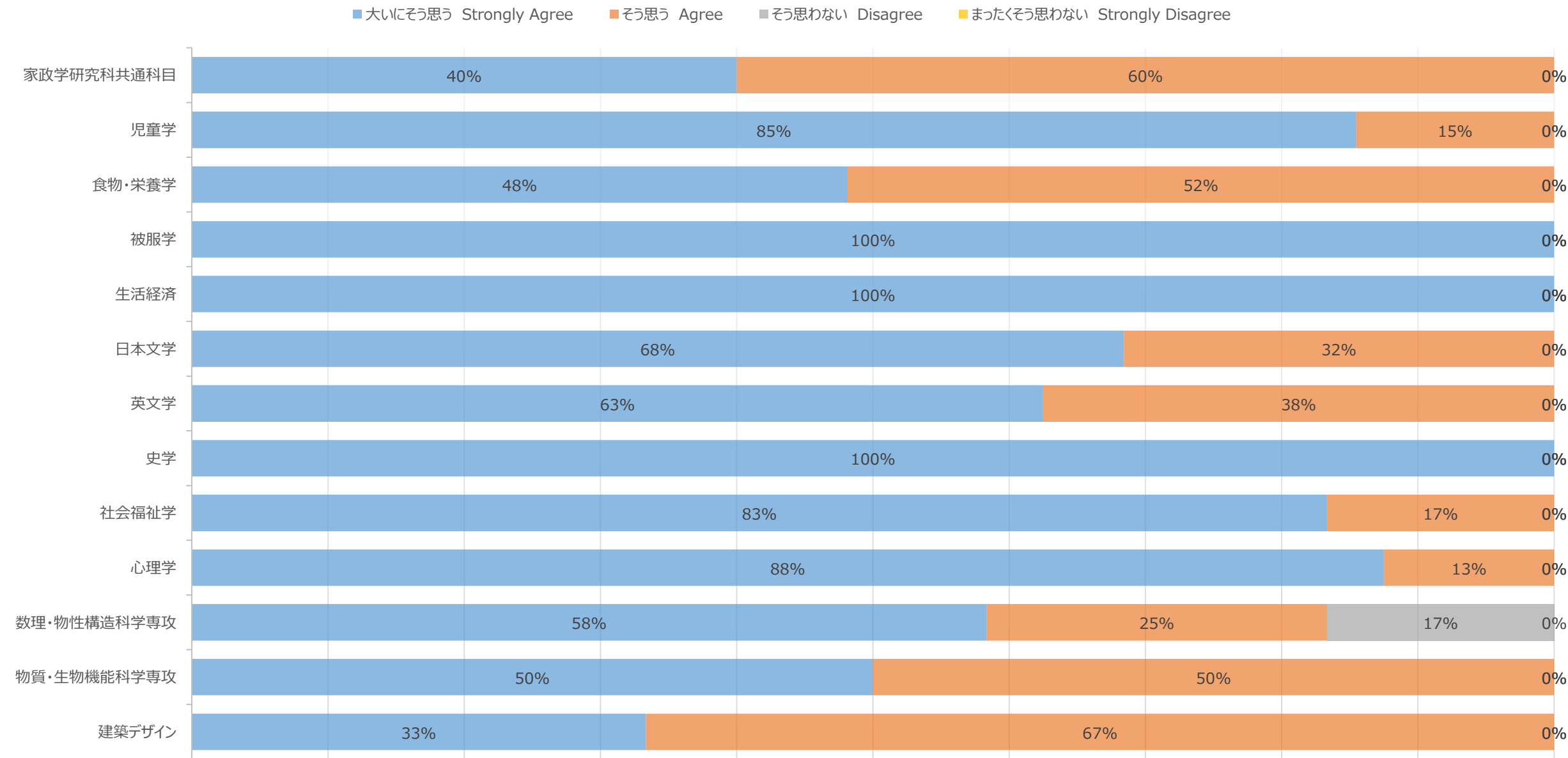


学生へのフィードバックが適切に行われたか



授業の満足度

総合的に判断して、この授業は有意義だった



授業の満足度（5点を一番良い点として）

